

# よつば通信



令和2年3月24日  
魚津市立よつば小学校  
3月号  
URL [www.yotsuba-e.tym.ed.jp](http://www.yotsuba-e.tym.ed.jp)

ご理解、ご協力、ご支援に感謝いたします

校長 宝田 哲



修了式を行わないまま年度末を迎え、子供たちも保護者の皆さまも戸惑いや不安を抱えておいでのことと思います。国の新型コロナウイルス感染防止の方針のもと、1か月にも渡る休校措置がとられ、保護者やお家の方には、特に日中の子供たちの過ごし方や見守りに苦労されていることと思います。また、学びべき内容を残したまま休業に入り、学力面での問題も懸念しておられるでしょう。このような混乱した状況にもかかわらず、全面的にご協力いただいている保護者の皆さまには、本当に感謝申し上げます。ウイルス感染の状況はまだまだ予断を許さないようですが、少しでも早く収束に向かい、正常な教育活動が展開できるようになることを願うばかりです。

さて、開校2年目の本校は、「かしこく やさしく たくましく一夢に向かってチャレンジャー」を教育目標に掲げ、今日まで教育活動を進めてきました。皆さまには、「子供たちのために」と、格別のご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。おかげさまで、大きな事故や事件もなく、子供たちが明るく元気で楽しそうに学校に通ってくれたことが一番の喜びです。子供の育ちについては、成果が出た点もあれば、課題として残された点もあり、まだまだ継続的な、或いは新しい取組の必要性を感じています。新年度からは、今まで積み上げてきたことを基に、より質の高い教育活動の推進に努めたいと思っています。より一層のご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。

## お知らせとお願い

学校は本日24日までの休校の後、25日より「春休み」に入りますが、新型コロナウイルス感染の危機が解消されたわけではありません。不要不急の外出の自粛、人混みや換気の悪い場所への滞在回避、外出の際のマスク着用、手洗い、消毒等の感染防止の取り組みについて適切にご判断いただき、子供たちはもちろんご家族の皆さまも体調管理に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

なお、新年度は4月6日(月)に始業式を行い、令和2年度のスタートを切る予定です。

## 卒業証書授与式 109名が巣立ちました

17日(火)、2019年度の卒業証書授与式を挙行了しました。保護者の皆さまに見守られる中、第2回卒業生109名に6か年の教育課程を修了した証の卒業証書を手渡しました。在校生やご来賓の列席がない異例の形に加え、ほとんど練習もできないまま式に臨んだ卒業生でしたが、一人一人の姿勢や態度はすばらしく、喜びと感謝、決意の気持ちが伝わる式になりました。

卒業生には、式辞の中で「知恵を生かして変化に対応し、未来を生き抜くたくましさ」をもって欲しいというメッセージを送りました。これから始まる新しい日々を、持ち前の明るさとさわやかな笑顔で進んでいってくれることを心から願っています。



### —まだ伝えなかったメッセージ— <もう一つの式辞>

### しなやかな強さを身に付けよう!

重い雪が降り積もった朝、何本もの杉の木が重みに耐えきれずに折れている横で、大きくしなりながらも耐え、やがて雪をはねのけて元通りになり、風に吹かれている「竹」を見たことはありませんか。

竹は、大木のようにどっしりしているわけではありませんが、真っ直ぐに伸びるためのしなやかな強さをもっています。また、竹は驚異的な成長力をもっています。若い竹は、地下の茎でつながりぐんぐんと成長します。伸び盛りのタケノコは、1日で1m以上も伸び、2~3か月で20mもの高さにもなるそうです。

皆さんは、これからどんどん成長する「若竹」です。皆さんに必要なものは、「柔軟性」があって折れにくい強い精神力。言わば「竹」のもっているようなしなやかな強さだと思ふのです。

強さとしなやかさの源は、竹の組織と「節」にあると言われ、人間が成長する過程にあるいくつかの「節目」と竹の「節」はよく似ている気もします。卒業式は、これからのみなさんを支える大事な「節目」です。決意を新たにして、中学生という次のステージに、自信をもって進んでください。

そして、希望と目標をもって努力し、ひとつひとつ新しい「節」を刻んでください。これから、苦しいことやつらいことがあり、時には心が折れそうになることもあると思いますが、それを乗り越えたときに、また一歩成長し、より高いところへ行く「節」ができ、「しなやかな強さ」になっていくことでしょう。応援しています。



## ご挨拶



私事で恐縮ですが、宝田は、3月31日をもって定年退職となります。開校以来2年間、校長として新しい学校づくりに努めてきたつもりですが、まだまだ不十分な面が多く、皆様のご期待にそえなかったことが心残りです。慌ただしく休校に入ったため、子供たちに最後の言葉をかけることもできなかったわけですが、今後は、よつば校区の一住民として、子供たちの成長を見守り、応援していきたいと思っています。これまでの温かいご支援に対し、この紙面を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

校長 宝田 哲